

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【京都府立桃山高等学校】

1 実践テーマ	【 Ⅲ・Ⅴ 】
2 実施対象者	① 1年生・2年生（体育） ② 1年生・3年生（人権学習）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（体育） ② 行事名（人権学習） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 （ねらい）	① 普段あまり馴染みのない競技（ボッチャ）の体験を通し、種目そのものに興味を持つと共に合理的配慮についての認識を深める機会にする。 ② 講師御自身の体験を通して、障害に対する理解を深めるとともに、障害と向かい合い、車いすフェンシングに挑戦する姿勢から、諦めず困難を乗り越えて、進路を切り拓くことの大切さを学び、それを支える社会をどのようにつくればよいのかを考える。
5 取組内容	① ボッチャの体験（1・2年生） 2月の体育の授業中で、講座により回数は違うが1～2回取組んだ。2回目の授業があった講座では、ボッチャのルールに関する理解が進み、ただ単に中心に近いところに投げるだけではなく、わざとラインに近いところに白ボールを置いたり、相手チームの攻撃の邪魔になるような場所に自分のボールを置いておくなど、作戦を考えて来るチームもあり、みな積極的に取り組んだ。 特に普段は運動（体育）が苦手になっている生徒にとっては、珍しく体育の授業で活躍できる場面があり「もっとやりたい」という声も多かった。 事後の感想文等で全体を通してみても、否定的な意見はなく、事前に予想していた以上に生徒には好評であった。



ボッチャ（体育）の授業風景



京都府立桃山高等学校
Kyoto Pref. Momoyama High School

夢・感動・挑戦
～君のステージがここにある～

ホーム 学校紹 教育内 SSH 学校生

〒612-0063 京都市伏見区桃山毛利長門東町8

Tel 075-601-8387 / Fax 075-601-8388

介 容

活

在校生・保護者 学校説明 卒業生の 新着情
の方へ 会 方へ 報



京都府立桃山高等学校
Kyoto Pref. Momoyama High School

夢・感動・挑戦
～君のステージがここにある～



HOME > 学校生活 > 令和元年度 > 体育授業：ボッチャ



カテゴリを選択...

体育授業：ボッチャ

2020/02/10



2月10日（月）、保健体育科の授業において、1年生の生徒が、ボッチャを行いました。

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺もしくは同程度の四肢重度機能障がいがある方々のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。本校には、ボッチャの用具がないため、向日が丘支援学校、宇治支援学校、南山城支援学校、城陽支援学校、奥村総合支援学校から、カラーボールなどをお借りしました。

教員からの競技の説明ののち、5～6名ずつの16グループに分かれ、1ゲーム5分で対戦を重ねました。力いっぱい投げて、対戦相手のボールを弾き飛ばせるのではなく、コントロールとチームワーク、頭脳プレーが重要で、性別や年齢、障がいのあ

本校のHP で取り組みを紹介しました。

②人権学習講演会（１・３年生）

講師 櫻井 杏理 さん

種目 車いすフェンシング



講演風景

6主な成果

①ボッチャの体験（１・２年生）

前述のとおり生徒は積極的にボッチャという競技を楽しんだ事が最大の成果である。

授業の冒頭でボッチャという競技についての知識を問うたが「名前を知っている」と答えた生徒が各講座に２～３人程度で、「競技をしたことがある」と答えた生徒は、ほぼゼロだった。

今回の取り組みで、この競技がパラリンピックで行われることを知ることになり、少なくとも体験した７００人の生徒には、「世界レベルの技や駆け引きがどんなものなのか？」興味関心が持てる種目になったことは間違いないと思う。

以下、生徒の感想から抜粋

- ・ボッチャは障がい者用のスポーツというイメージが強かったが、健常者も共に楽しめる良いスポーツだと思ったし、戦略から見ても奥深い競技だと感じた。（１年男子）

- ・想像以上に盛り上がった。障がいがある人もない人も皆が楽しめるスポーツだからもっと知名度が上がって交流の場が広がることで互いに理解しようという気持ちをもっと広がってほしいと思った。もっとパラ競技について知りたい。（２年女子）

- ・動かない競技でも頭を使ってみんなで作戦を話し合いながらするのはとても楽しかった。体が不自由でも気軽に楽しめて、尚かつ真剣に打ち込めるスポーツがあるのがとても良いことだ。夏の東京パラでボッチャのプロの人たちを応援したい。

②人権学習講演会（１・３年生）

世界を舞台にして現役で活躍している本物のアスリートのお話を聞くことができたことは、パラリンピックに興味関心を持つという部分でとても大きな経験になった。

特に、講師がさほど年も離れていない本校の卒業生であることも含め、障害の理解という部分では、講演内容が「遠い世界の他人事ではない」と感じられたと思われる。

	<p>以下、感想文の中から抜粋 (印象に残った言葉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一緒に走ることも歩くこともできる。ただ使う道具が今までと違う。」という講師に友人が言った話 ・明日を同じように生きられるという保証はなく日常は当たり前ではない非日常の連続である。だからこそ今の一瞬を大切に生きる。 ・自分がどんな状態になっても自分そのものの価値が変わってしまうことはない。 ・障害者にも障害者なりのプライドがある。なんでも手伝うのではなく、ピンポイントで手伝ってほしい。不自由な人を助けるときはその人が本当にしてほしいことをよく考える。 ・勝負には勝者はもちろん敗者もいるから「負ける覚悟」をしっかりと持っておく。 <p>(感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックの日本代表に選ばれるような方でも最初から強い人間だったわけではなく普通の人と同じように悩み苦しんだ過去があったということ。 ・何も言わずに手伝ってしまうとその人を「かわいそうな人」「手伝わないと何もできない人」と決めつけることにもなる。今の社会は「社会的弱者は助けよう」という風潮があるけど「相手の価値を決めてしまわずに障害を持つ人が少しでも自立してできることができるようになるための手助けをしよう」という社会になるべきだと思う。 ・フェンシングの拠点をイギリスに移しレベルの高いプレーヤーと高めあうという挑戦をする姿勢が印象に残った。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>①ボッチャの体験</p> <p>本事業を知ったのは、年度が始まってからのため、年間計画の中に学校行事等で取り入れることは不可能だった。逆に、普段の授業の中や年間計画に入っている人権学習の中で取り組むことで、パラリンピックや障害者のことを考えるのが特別な活動でないという位置づけにできた。</p>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会は、本校の卒業生であるという縁もあり、昨年度に引き続き櫻井杏理さんをお願いしたが、世界的に活躍する選手は日程の調整が難しい。(今年も直前まで日程が決まらなかった。)合わせて、講演会の謝金の面でも普段使う府費の講師枠ではお願い出来ないのでは、次年度以降の継続が難しい。 ・今回、ボッチャの用具を8セット調達するのに、府立、私立の支援学校5校をお願いして貸していただいた。その際、相手方と本校の予定のすり合わせの難しさを感じた。(特に今年は、始まってから考えたので) <p>教育委員会などで貸し出してもらえるなどのシステムがあればありがたい。</p>
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・「障害者問題」という趣旨の講演会(計画しているが、パラリンピックの開催年ということもあり、また、上記のような問題もあり、パラアスリートを招聘しての講演会は難しいと思われる。) <p>【体育科と相談の上、可能であれば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャを計画的に取り入れたい。また、ほかのパラスポーツに取り組みめないか考えたい。

	<ul style="list-style-type: none">・支援学校の生徒とボッチャを通じた交流ができないか考えたい。・体育で複数の競技を取り入れられるようなら、「生徒リーダーが競技ルール等を先に勉強して、ほかの生徒を指導する。」ような、タイプの展開にできないか考えたい。
--	--